

高校生が日本一の座をかけて躍動

日本最大の規模を誇る高校ダンス部の大会「第11回 日本高校ダンス部選手権（スーパーカップダンススタジアム）」の全国大会が8月16、17の両日、横浜市西区のパシフィコ横浜で開催された。今年は過去最多の456チームがエントリー。地区大会を経て、全国大会のスモールクラス（2〜12人）とビッグクラス（13〜40人）に各50チームが進出し、日本一を競った。ビッグクラスは同志社香里（大阪）が2年連続で、大会最多となる5回目の優勝を達成。スモールクラスは羽衣学園（大阪）が初優勝を果たした。

ビッグクラス



同志社香里が演技のテーマに掲げたのは「苦闘」だった。2連覇がかかるプレッシャー。高校ダンス部への注目。演技を作る苦しみ。自分たちが置かれた状況を「苦闘」という言葉で表したのだ。

忍者をイメージした紫色の衣装でステージに登場すると、重厚な音楽に合わせて、力強いダンスを披露。次々にフォーメーションを変えながら、スピード感のある動きで観客を魅了した。次第に力強さは増していき、40人全員で腕を振り回しな

「苦闘」乗り越え、2連覇

優勝

同志社香里（大阪）

から踊る見せ場は圧巻。最後まで迫力たっぷりに演じ切ると、客席から自然に拍手が起きた。「いつもは踊っていて、しんどいこともあったけど、今日は、みんなの一体感が生まれて、踊っていて楽しかった」と部長の川口紗依さん（3年）。

演技を作る過程では、2連覇を意識しすぎて、部員の意見がまとまらないこともあった。「『こだわること』に、こだわった」と、大会の2日前まで振り付けの改良を重ね続けた。妥協を許さず、納得がいくまで苦闘した先に待っていたのが、2連覇。そして、ビッグクラスで同校が持つ最多優勝回数を「5」に伸ばした。

全国大会結果

【ビッグクラス】		
優勝	同志社香里（大阪）	
準優勝	大阪府立久米田 山村国際（埼玉）	
優秀賞	神奈川県立市ケ尾 大阪府立堺西 大阪府立箕面 大阪府立登美丘 奈良市立一条	
	審査員特別賞	東京都立大森
	エースコックススーパーカップ特別賞	日本体育大学荏原（東京）
	ワン・ダイニング特別賞	京都府立山城
	産経新聞社賞	横浜創英（神奈川）
ストリートダンス協会賞	大阪府立渋谷	
【スモールクラス】		
優勝	羽衣学園（大阪）	
準優勝	桜丘（愛知）	
優秀賞	二松學舎大学附属（東京） 京都府立山城 大阪府立箕面 精華女子（福岡） 福岡工業大学附属城東 神村学園（鹿児島）	
	審査員特別賞	沖縄県立コザ
	エースコックススーパーカップ特別賞	武南（埼玉）
	ワン・ダイニング特別賞	初芝立命館（大阪）
	産経新聞社賞	大阪市立鶴見商業
ストリートダンス協会賞	実践学園（東京）	



準優勝
府立久米田（大阪）



県立市ケ尾（神奈川）



山村国際（埼玉）

優秀賞



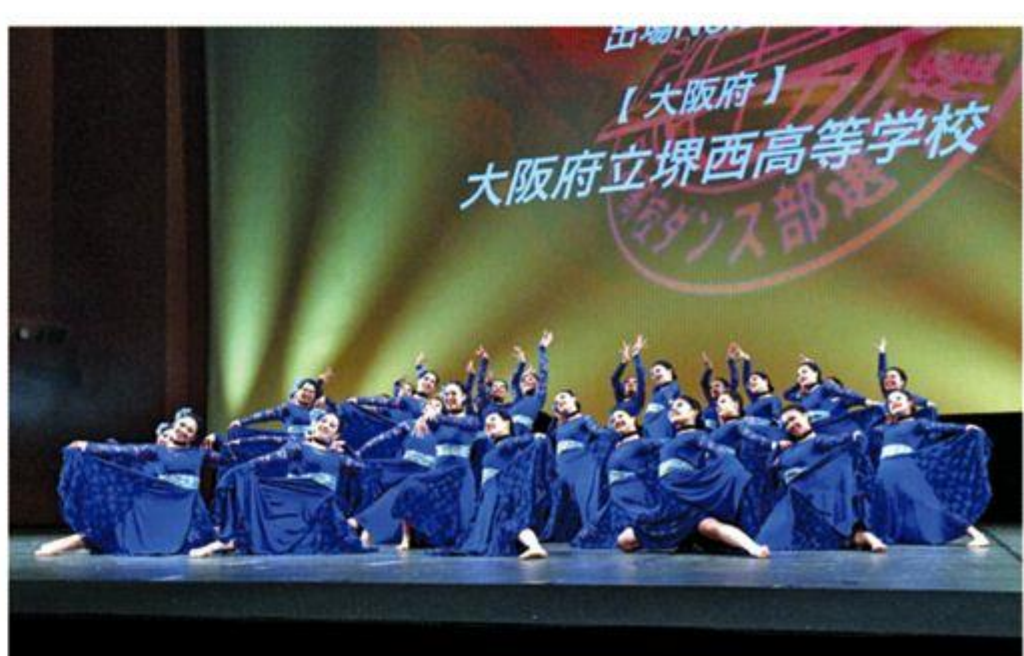
市立一条（奈良）



府立登美丘（大阪）



府立箕面（大阪）



府立堺西（大阪）

主催 産経新聞社、ストリートダンス協会
 共催 関西テレビ放送
 後援 スポーツ庁、全国高等学校体育連盟ほか
 特別協賛 エースコックス
 オフィシャルパートナー 大塚ホールディングス、ジョンソン・エンド・ジョンソン ビジョンケアカンパニー、スカイA、U-NEXT、ワン・ダイニング（五十音順）
 運営統括 ブルー スプラッシュ